

合宿 2012 活動記録

● 8月9日



▲ 民宿の前に広がる景色、素晴らしい

サマコンを終え、翌日から合宿というハードなスケジュールでした。しかし中等は遅刻者無しで時間通りの集合ができましたね。

中等部員は全員合宿の経験なし、初めて。どう練習をするかなど、正直不安なことはたくさんありましたが、とりあえず楽しみました。

合宿でしかできないことをしたいという方向性だった私たちは、「チェル2を体験する会」を行いました。自由曲であるコンチェルト2楽章の、森に彷徨いこむ曲想を自分の体で体験する⇒一人で森を歩くというものです。

もう大人な男子部員は除き、これを書く自分を含む多くの方が「怖さ」を体感したようです。ちょっとした虫のカサカサ音とか、草が足に触れるとかもうびりまくりだったと思います。すごく意味のある会となりました。



▲ふざけた男子部員



▲寝れま10の様子。なかなか集中している

他に印象的だったのは、「弾けるまで寝れま10」だと思います。

ネーミングは適当ですが、要するにいつもごまかしている部分を、自分の納得のいくまで夜に練習するものです。

全員が公式の就寝時間をオーバーして積極的に練習していました。

しかし、この練習が後で後悔になってしまいます。

● 8月10日



▲朝のホールの様子。手前は寝ていますが奥では朝練…

起床は朝6時。ここで私たちは地獄を見ることとなります。辛い。起きるのが辛い。一部の部員は何度寝もしていたようです。

早めに起きた部員は朝練をしていました。すごくいいことだと思います。というか、今年はホールで就寝する人が多かったのだとか。部屋もいいけど、たまには楽しいですね。

朝から練習が捗らぬよろしくないわたしたち。危機感を感じ講師に相談し、「走って来い！」というアドバイスを基に、近くのキャンプ場を通り、みんなで走ってきました。



心拍数が上がったので、緊張した時もの通りの演奏をする練習ができ、効率的でしたね！先生、ありがとうございました。



▲第1ホールには、小さなステージがありました！

この日は重奏練習をしました。

1パート1人、合計5回Rainyを発表し、意見を出し合いました。

3,4年の構成なのでレベルは高く、より深まり有意義でしたね。

また、少人数なので意見が言いやすい。全員が言っていました。多くてもあれほど積極的にできたらいいですね。



更に、この日から「Rainy50会」を始めました。名前の通り、課題曲 Rainy Blue を50回弾きこむという企画です。

この回数は想像以上にきついものがあり、1日で終わらせる予定でしたが、質のある練習をするため中断しました。

休憩中はみんな疲れ過ぎてダウンでしたね…笑

この日は Rainy 中心の練習になり、自由曲にあまり手をつけていませんでした。

● 8月11日

この日は合宿では初めて、母体校の相模大野高校の先輩方と合同練習をしました。

始めにコンクール曲のお披露目会をし意見を言い合いました。

高校生からは、もう少し的確に意見を頂けたら嬉しかったです。もっと客観的にどう聞こえるのか、どう練習すればいいか参考になったりよかったです…

他にも全体合奏のアポロやスパのレッスンがありました。これは、両校頑張った方がいいです。

また、Rainy 漬けであった私たちは自由曲チェルの練習に集中しました。

しかし講師の先生によるレッスンでは知らない単語、理解できない深い楽曲の中身を教えて頂き、自分たちの無能さを感じると共に、サマコンで小林徹先生がおっしゃっていた「プロッホは深い」という意味がわかりました。

具体的に、同じ音でも Minor コード と Major コード のどちらの音なのか考え、響かせるということ、3 楽章の展開部(中間部)のフレージングや抑揚・弾き方などを教わりました。自分たちが理解しないと、帰ってから 1,2 年生に教えられないからすごく責任を感じました。

特に、Alto1st パートの弾き方について、翌日深夜 0 時まで先生とのマンツーマンレッスンが行われました。

ここまで私たちと向き合って下さる講師の先生に感謝したいです。

● 8月12日



気持ちの良い快晴！

合宿最終日です。

10時から1時間だけレッスンがありましたが、
ここでは更に課題を見つけることができました。

また、その後合宿を振り返る会(反省会)では、これからコンクールまでの練習8日間を目指すこと、更に来年のことまで話し合うことができました。

この合宿では、まず一人一人の大切さ・譜読みや楽曲の研究の必要性・集中力の必要性など、様々なことが学べたと思います。

それぞれ指が痛くなってしまう位練習した私たちは、絶対に無駄なことはしていません。
すごくいい練習をしたのではないかと思います。

今年初めて合宿を体験し、改善点も見出せました。

まずはコンクール、そして様々なイベント。

そして来年は、とうとう中等生のみでの合宿です。

今年よりもよい合宿にできるよう、頑張りたいです。

～おわり

作：部長 森田祐介